

令和2年度 石見さくら会居宅介護支援事業所拠点事業報告

《石見さくら会居宅介護支援事業所事業報告》

1. 事業総括

介護保険法の理念に基づき要支援状態或いは要介護状態にある高齢者自らの意思を尊重し、その心身の状態に応じた能力を活かし、住み慣れたご自宅等でできるだけ自立したその方らしい生活を営むことができると共に、状態の悪化を予防できるよう医療・福祉の関係機関又は、地域の方々と連携し、総合的に支援を行いました。

(1) サービス事業

- ① 要支援状態或いは要介護状態にある高齢者が可能な限り自宅に於いて、その心身の状態に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう配慮し、支援を行いました。
- ② 要支援状態或いは要介護状態にある高齢者の選択により、心身の状況、その置かれている環境等に応じ、適切な保健医療サービス及び福祉サービス、施設サービス等、多様な事業所との連携により、総合的かつ効果的に介護計画が提供できるよう心掛けました。
- ③ 要支援状態或いは要介護状態にある高齢者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者に提供されるサービス等が特定の種類又は、特定のサービス事業者に偏することがないように公平、中立の立場を心がけました。
- ④ 要支援状態或いは要介護状態にある高齢者の要介護認定等に関する申請に対し、本人等の意思を踏まえ必要な支援及び協力を行いました。
- ⑤ 保険者から介護認定調査の委託を受けた場合、公平な調査を行うと共に所要の知識を深める為に、研鑽に努めました。

(2) 人財育成事業

介護支援専門員としての資質向上、専門的知識、技術向上を図る為、ケース検討を通し、日々研鑽に努めました。

(3) 施設整備事業

令和2年度事業計画に基づき実施すると共に、新型コロナウイルス感染予防対策のために補助金を活用し、環境を整えました。

(4) その他

特になし。

令和2年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は、以下のとおりです。

【サービス事業】

計画上の事業	実施した内容・成果等
◆介護保険関係	
居宅介護支援	<p>【実施した内容】</p> <p>目 標；その方らしい在宅生活の継続 K P I；要介護区分の維持或いは改善率 60%を目指しました。</p> <p>【成果】</p> <p>更新申請に於いて要介護区分が維持或いは改善できた方は 12 名、維持・改善率は 80%でした。</p> <p>しかしながら、区分変更申請により要介護区分が悪化された方が 5 名いらっしゃいました。原疾患の増悪等により 1 ヶ月以上の入院が発生した場合、入院中に要介護状態が悪化し、区分変更申請が必要となりました。</p>
総合事業 介護予防	<p>【実施した内容】</p> <p>目 標；その方らしい在宅生活の継続 K P I；介護予防状態の維持或いは改善率 80%を目指しました。</p> <p>【成果】</p> <p>更新申請に於いて介護予防状態が維持或いは改善できた方は 6 名、維持・改善率は 60%でした。</p> <p>介護認定申請によって介護予防から要介護状態と認定された方が 3 名、総合事業から要支援の認定を受けられた方が 1 名いらっしゃいました。其々、足や腰の痛みの増強或いは、認知機能の悪化に伴い介護認定申請を行いました。</p>
新規利用者の確保	<p>【実施した内容】</p> <p>地域包括支援センターや医療機関との連携強化を図り、新規利用者を紹介して頂きました。</p> <p>K P I；年間新規利用者数 20 名を目指しました。</p> <p>【成果】</p> <p>年間新規利用者数は、21 名であり、その内訳は、介護保険対象者 13 名、介護予防対象者 8 名でした。</p> <p>事業計画で掲げていた地区民生委員の訪問は、新型コロナウイルスの事もあり、実施できませんでした。</p>
経営の安定	<p>【実施した内容】</p> <p>利用者宅に定期的に訪問し、助言や対応を行い状態の悪化予防を図り、入院者数の減少に繋げるよう心掛けました。</p>

	<p>【成果】 年間延べ21名(3.18%)の方が、1ヶ月間入院しておられ月平均では1.75名でした。</p>																		
関連事業所間の連携強化	<p>【実施した内容】 多職種会議に参加し、関連事業所と情報交換を行い、より良い在宅生活に繋げるよう心掛けました。</p> <p>【参加した情報交換のための会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議 各月1回(但し4月5月2月は開催なし) ・サービス担当者会議 定期開催 各月2回 不定期開催 プラン新規・変更・更新時 																		
サービスの質の向上	<p>【実施した内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート ・介護サービス情報公表 ・介護支援専門員としての研修への参加 																		
◆介護保険外関係事業																			
オレンジカフェ事業	<p>桃源の家が実施する認知症カフェを手伝い、在宅で暮らす方々に認知症についての理解を促しました。</p> <p>参加者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>4月～6月及び1月は新型コロナ感染予防のため実施できませんでした。</p>	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	計	8	6	0	7	5	4	12	6	48
7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	計											
8	6	0	7	5	4	12	6	48											
デイサービス自主事業の紹介	<p>閉じこもり予防のためにデイサービスの体験利用を促し、3月に入り1名の方が、ご利用になりました。</p>																		
食の確保	<p>独居の方で、買い物に出かけたり調理を行ったりすることが困難な方を対象に、栄養状態を改善する為に配食サービスを紹介し、体調の維持・改善を図りました。</p>																		
「いっ福しませんか」の発行	<p>令和2年度は、感染症予防に重点を置いた情報と認知症予防のための「脳トレ」を毎月作成し、訪問時の話題提供と共にコミュニケーションが容易に行えるよう活用しました。</p> <p>「脳トレ」の答え合わせを楽しみにされる方が増えました。</p>																		

【人財育成事業】

① 研修

令和2年度は、新型コロナウイルスの関係で、例年行われている研修が実施されなかったりオンラインでの研修になったりしました。

計画上の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
応用行動分析学に基づく組織環境構造マネジメント研修		1名	組織の在り方や職員育成方法について学び、業務に活かすようにしました。
自立支援介護			ご利用者が、自立した生活ができるよう自立支援介護について学び、ケアプランへの反映を行うようにしました。
マナー・接遇に関する研修	主任以上	2名	基本的マナーについて学び、日頃の業務に活かすようにしました。
ハラスメント研修	主任以上	1名	ハラスメントについて理解を深めハラスメントのない組織に向けての意識を高めました。
障がい者福祉サービスにおける介護保険への移行に係る研修	ケアマネージャー	2名	高次脳機能障害の研修を受講し、障害福祉サービスとの関係について理解を深めました。
認定調査（現任）研修	ケアマネージャー	2名	要介護認定調査記載に係る事項について再確認をしました。
ケアマネジメントに関する研修	ケアマネージャー	2名	介護保険法改定の要旨やケアマネジメントを行う上で必要な事柄について再認識を行いました。

② その他の取組事項

特になし

【設備整備事業】

計画上の施設整備等	実施した内容等
車両費	安全運行の為に車検を行いました。
事務消耗品費	書類を収納するために押入れにカラーボックスを設置し棚にしました。
	個人情報が入字された書類を破棄する際に個人情報保護のためシュレッダーの購入を行いました。
	利用者宅訪問時における連絡対応のために携帯電話を1台更新しました。
	感染予防のためにマスクや手指消毒薬などの購入を行いました。
計画外の施設整備等	実施した内容等
事務消耗品費	新型コロナウイルス感染予防対策補助金を活用し以下の物を購入しました。 ・加湿空気清浄機 1台 ・KN95及びN95マスク 350枚 ・フリーアドレスデスク 1台 ・消毒用アルコール 2本 ・次亜塩素 1本

【その他】

特になし。

1. 利用者状況の総括

令和2年度の新規登録者数は27名、終了者が17名と10名増え3月末日の登録者数は、63名、平均ご登録期間は、3年1ヶ月となっています。令和2年度新たに登録された方について半年以内に施設入所となったり、永眠されたりと終了となられた方が4名おられました。又、登録はされたものの、住宅改修が目的であった為、介護保険サービスに繋がっていない方や、入院等によりサービスが中断された方もおられます。入院が長期間に渡ると、心身の状態に変化が生じやすく退院時に於いてサービス内容を変更する必要性が起こる可能性が高く、医療機関やご家族に対し、再々、様子を確認し、必要に応じサービス提供事業所との調整をする必要がありますが、退院され、在宅サービスに繋がらなければ、実績とならないことが、制度上の課題かと思えます。

令和元年度の実績と比較すると地域包括支援センターからの委託である介護予防事業では年間延べ30名と僅かながら増となっていますが、要介護状態の方は、延べ76名減少しています。このことは、地域包括支援センターからの委託が多いことを示しています。

【利用率の状況表】

定員	計画人数	計画利用率	実績人数	実績利用率	備考
852名 (71名/月)	816名 (68名/月)	95.8%	655名	76.9%	R1年度 701名

【利用者構成の状況表】

構成 (介護度別)	計 画		実 績		備 考
	人数	構成割合	人数	構成割合	
介護予防	288名	35.3%	294名	44.9%	R1年度 264名
要介護1・2	480名	58.8%	260名	39.7%	324名
要介護3～5	48名	5.9%	101名	15.4%	113名

2. 要員（人員）体制の総括

年度当初、1.5名体制であった人員を5月から10月までの半年間2名体制で実施しました。

【要員状況表】

(単位；人、%)

職種	計 画		実 績		
	人数	常勤換算数	人数	常勤換算数	計画に対する充足率
所長・管理者兼務 (主任介護支援専門員)	1	0.1	1	0.1	100
介護支援専門員	2	1.4	2	1.4	100
計	2	1.5	2	1.5	100

3. 苦情解決（要望含む）について

特になし